

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	図画工作
----	------

種目	図画工作
----	------

発行者略称	開隆堂
-------	-----

教科書名	図画工作
------	------

所見	
1	<p>学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「感性を働かせながら」にかかわる配慮として、既存の概念にとらわれない子どもらしい伸び伸びとした表現の作品が多く掲載されている。このことにより、感覚や感じ方、表現の思いなど児童の感性を十分に働かせることが促されている。 ・「豊かな情操を養う」にかかわる配慮として、国内外の作家や児童の様々な作品、材料・画材が数多く紹介されており、これからの世代を担う児童らの、文化や芸術を創造しようとする豊かな心を育てることにつながっている。
2	<p>内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各巻とも、「造形遊び」「絵に表す」「立体に表す」「工作に表す」「鑑賞」の題材を、バランスよく配置している。 ・題材名が工夫されているものが多く、児童にとって活動内容がイメージしやすい。 ・鑑賞題材を、低学年では「造形遊び」と同じ題材で一緒に扱っている。 ・作品例や製作過程が詳細で、レイアウトを工夫してコメントとともに掲載されており、児童が参考にして取り組みやすく、分かりやすい。 ・題材ごとの「目標」や『ふりかえってはなしあおう』、作品に対する「作者の言葉」などによって、〔共通事項〕を意識させるようにしている。
3	<p>資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童作品の写真は、模範的な作品の他、意図的に個性的な作品も掲載している。 ・巻末2ページに「道具箱」が設定されており、道具の名称や使い方がイラストで丁寧に解説されている他、それぞれの題材ページにも表現の技法や材料・用具の使い方が解説されており、取り組みやすい。 ・鑑賞資料の説明を意図的に少なくし、視覚から得た感性を働かせて作品等のよさや美しさが感じ取られるような配慮がなされている。
4	<p>表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの題材のページ数にこだわらず、少ないページ数で適切な題材数を掲載している。 ・一つ一つの題材のページの終わりに「ふりかえってみよう」「ふりかえって、はなしあおう」のコーナーが設定されており、言語活動の充実をさせるとともに、観点を絞った評価ができるようになっている。 ・「あなたなら、どう表しますか」では、代表的な表し方の工夫を掲載しており、表したい思いや表現方法で悩んでいる児童の参考資料として効果的なものとなっている。 ・目次の題材名に、「各題材の分野・領域」や「中心的な学習の目標や活動」を表すマーク、主な材料・用具、選択的な扱いができる活動内容などが示されており、その教科書1冊に含まれる学習内容の全ての概要が分かるようにしている。
5	<p>全体的な特徴、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各巻46～48ページ構成で、24～30題材を掲載している。地域や学校に実態に合わせて選択可能な内容が示されている。 ・レイアウト、体裁など、図画工作科の教科書としての美しさを追求し、美的感覚や情操を刺激するとともに、児童にとって最も身近な「美術書」にすることを心がけている。これらのさまざまなねらいを一層実現するために、ランドセルに十分入ることが可能なA4版を採用している。 ・全体的に印刷インキのぎらつきを抑える効果のある、しっとりとした目に優しい紙を採用し、児童の視力を保護するなどの配慮もしている。 ・児童にとって十分な情報を掲載するため、題材ごとに柔軟な紙面構成をしている。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	図画工作	種目	図画工作
----	------	----	------

発行者略称	日 文	教科書名	図 画 工 作
-------	-----	------	---------

所 見	
1	<p>学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 「表現と鑑賞の活動を通して」にかかわる配慮として、鑑賞しながら表現につながる題材や鑑賞したことから考えたり感じたりしたことを表す題材を設定している。このことにより、表現と鑑賞が一体的に学習できるよう工夫されている。 「感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうように」にかかわる配慮として、完成された作品例だけではなく、発想や構想する姿や創造的な技能を発揮している姿、また、友だち同士で笑顔で活動している姿が掲載されている。
2	<p>内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各巻とも、「造形遊び」「絵に表す」「立体に表す」「工作に表す」「鑑賞」の題材を、バランスよく配置している。 中学校美術とのつながりを意図したページを構成している。(5・6年下) 鑑賞題材は、全学年で独立した題材として設定している。 児童が活動している様子の写真とコメントが学習のめあてに対応しており、主体的な学びが促されている。 [共通事項]について、特定のページだけではなく、教科書全体を通じて取り扱っている。それぞれの写真やコメントから形や色を感じ取り、イメージをもてるように構成されている。
3	<p>資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童作品の写真は、模範的な作品を中心に掲載している。 巻末6ページに「使ってみよう材料と用具」が設定されており、材料や用具の扱い方が詳しく丁寧に解説されている。用具の安全な使い方についても、各題材のページに適宜示されている。 鑑賞資料の説明文が比較的詳しく掲載されており、それを読むことを通して、子どもたちが作品等のよさや美しさなどを読み取れるような配慮がなされている。
4	<p>表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つの題材につき見開き2ページで構成されており、授業の導入から終末までが見やすくまとめられている。 一つ一つの題材の始めに小さな黒板が提示されており、そこに評価の観点を反映した学習のめあてがまとめられている。 「形や色のチーロさん」というキャラクターを配し、発想や構想が広がりにくい時のヒント、工夫するときのコツ、鑑賞する際の視点などを吹き出しで投げかけている。 目次の題材名に、「分野を表すアイコン」だけでなく、「作品や活動の様子を表す写真」を載せており、それぞれの題材の特徴を端的に伝えられるようにしている。
5	<p>全体的な特徴、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 各巻58ページ構成で、26～27題材を掲載している。1・2上の2題材以外のほとんどの題材を見開き2ページで構成し、活動の様子や作品例を大きく掲載している。 どんなランドセルにも入るように、A4版より2cm短いレターサイズを採用している。 植物性インクを使用し、従来の印刷に比べて人体への影響が少なく、化学物質に敏感な子どものために化学物質の残存量を少なくするための努力をしている。 各題材で共通な紙面構成をしている。どの題材も体裁が整っている。